

- 問1 1866年、対立していた薩摩藩と長州藩を仲介し、両者の和解を実現させた土佐藩出身の人物は誰？
- 問2 幕末の開国後、アメリカをはじめとする外国と結ばれ、生糸などの輸出が始まったことで国内の物価上昇を招いた条約を何という？
- 問3 幕府が1825年に出した、近づいてくる外国船を武力で追い払うように命じた法令を何という？
- 問4 ペリー来航の結果、1854年に日本がアメリカと結んだ開国のための条約を何という？
- 問5 1861年に始まったアメリカ南北戦争の最中に、奴隷解放宣言を行い、国家の統一を訴えた大統領は誰？
- 問6 アメリカがペリーを派遣するきっかけとなった、1840年に清がイギリスと戦った戦争を何という？
- 問7 1853年に軍艦を率いて浦賀に来航し、日本に開国を求めたアメリカの提督は誰？
- 問8 1864年に長州藩による外国船砲撃への報復として、イギリス・フランス・アメリカ・オランダが下関を攻撃するために編成した艦隊を何という？
- 問9 1853年に浦賀へ来航し、江戸幕府に対して開国を強く求めたアメリカ東インド艦隊の司令長官は誰？
- 問10 1858年に江戸幕府がアメリカなどと結んだ、自由貿易の開始を認めることになった条約を何という？
- 問11 1858年、江戸幕府の大老としてアメリカと日米修好通商条約を結んだ人物は誰？
- 問12 開国直後、当時の日本の貨幣制度の仕組みを悪用され、海外へ大量に流出したものは何という？
- 問13 1858年に日本が結んだ日米修好通商条約において、日本が認めてしまった、外国人が日本で罪を犯しても日本の法律で裁くことができない権利を何という？
- 問14 薩長同盟によって軍事力を強めた両藩が実現した、徳川慶喜が政権を天皇に返還した出来事を何という？
- 問15 ペリー来航により崩壊した、江戸幕府が長く続けていた外交方針のことを何という？
- 問16 1854年にアメリカと開国の交渉を行い、日米和親条約を結んだ当時の日本政府を何という？
- 問17 1853年にペリーが浦賀へ来航した際に率いてきた、当時の日本人が驚いた蒸気船などの近代的な軍艦を何という？
- 問18 幕末に幕府が出した方針で、日本近海に現れる外国船に対して帰港を促すために、水と共に与えることとした資源を何という？
- 問19 幕末の貿易開始後、輸出品が大量に外へ出たことや通貨の価値が不安定になったことで、国内の品物が不足し、物価が急騰した現象を何という？

答え合わせ・解説

問1	答え 坂本龍馬	土佐藩を脱藩した坂本龍馬は、倒幕のためにはこの二藩の協力が必要であると考えました。そこで、両藩の指導者たちを引き合わせ、1866年に薩長同盟を成立させました。また、海援隊の前身となる亀山社中を作り、貿易や輸送にも力を注ぎました。
問2	答え 日米修好通商条約	1858年、大老の井伊直弼は朝廷の勅許を得ないまま、アメリカ総領事ハリスと日米修好通商条約を結びました。これにより函館・横浜・長崎などの開港と、治外法権の承認、関税自主権の喪失が決定しました。以後、同様の条約が英・仏・露・蘭とも結ばれ、安政の五カ国条約と呼ばれます。
問3	答え 異国船打払令	1825年、江戸幕府は「異国船打払令」を出し、日本に近づくと外国船を無条件で攻撃して追い払うよう命じました。これにより、武力による攘夷の姿勢が明確になりました。
問4	答え 日米和親条約	この条約によって、日本はアメリカ船に対する薪（たきぎ）や水、食料の補給を認めることとなりました。また、下田と箱館の二港が開港され、アメリカ領事の駐在も認められました。鎖国体制を根本から覆す歴史的な転換点です。
問5	答え リンカーン	リンカーンは奴隷制の拡大に反対する立場から大統領に選ばれました。1861年に南北戦争が始まると、彼は1863年に奴隷解放宣言を出し、戦いの目的を単なる国家統一から人道的な奴隷解放へと広げ、戦局を有利に導きました。
問6	答え アヘン戦争	清政府がアヘンの取り締まりを強化したことに反発し、イギリスが武力で開国を迫ったことで勃発しました。近代的な軍事力を持つイギリスの前に清は完敗し、南京条約を結んで香港の割譲や開港を余儀なくされました。
問7	答え ペリー	ペリーはアメリカ合衆国政府の命令を受け、4隻の蒸気船（黒船）を率いて浦賀に来航しました。大統領の親書を幕府に手渡し、開国と通商を強く要求しました。武力を背景にした圧倒的な威圧感は、幕府に拒否を許さない強烈なインパクトを与えました。
問8	答え 四国艦隊	1864年、イギリス・フランス・アメリカ・オランダの四カ国は艦隊を編成し、下関を砲撃しました。この「四国艦隊下関砲撃事件」により、長州藩の砲台は破壊され、多額の賠償金も課せられることになりました。
問9	答え ペリー	アメリカの東インド艦隊司令長官ペリーは、4隻の軍艦（黒船）を率いて浦賀に現れました。圧倒的な軍事力を背景に、開国と通商を求める大統領の親書を幕府に提出しました。幕府は強硬な態度をとるペリーに対し、防備を固めることもできず、翌年の再来航を約束して一旦回答を猶予せざるを得ませんでした。
問10	答え 日米修好通商条約	大老の井伊直弼が朝廷の許可を得ないまま独断で調印しました。この条約では、日本が外国に対して関税を決める権利（関税自主権）がないことや、外国人の犯罪を日本が裁けないこと（領事裁判権の承認）など、日本に不利な不平等条約でした。
問11	答え 井伊直弼	井伊直弼は幕府の大老として、朝廷の許可（勅許）を得ないままアメリカと日米修好通商条約を結び、横浜などを開港しました。これによって自由貿易が開始されましたが、反発を強めた攘夷派を安政の大獄で厳しく弾圧したため、恨みを買ったこととなりました。
問12	答え 金貨	当時の日本は金銀比価が金安だったため、外国人商人が銀を持ち込んで日本の金貨と交換し、それを海外で金と交換して大きな利益を得る「金銀交換比率の差を利用した投機」が横行しました。これにより、国内の金貨が急速に海外へ流出しました。
問13	答え 領事裁判権	日米修好通商条約は、日本にとって「領事裁判権」を認めず、「関税自主権」もないという、主権を侵害された極めて不平等な内容でした。領事裁判権とは、日本にいる外国人が罪を犯しても、日本が日本の法律で裁くことができず、その外国人の国の領事が自国の法律で裁く権利のことです。
問14	答え 大政奉還	坂本龍馬らの進言を受けた15代将軍徳川慶喜は、政権を天皇に返すことで、徳川家が新しい政権の中でも権力を維持しようと試みました。これが大政奉還です。これにより、長い間続いてきた江戸幕府の支配体制が公式に終わることとなりました。
問15	答え 鎖国	長年にわたり、外国との交流は長崎でのオランダや中国との限られた貿易のみに制限されていました。しかし、1854年の日米和親条約により、この体制は事実上終了しました。
問16	答え 江戸幕府	江戸幕府は、将軍を頂点とした封建制度で、中央集権的な統治を行っていました。1854年、アメリカのペリー来航を受けて日米和親条約を締結し、長い鎖国体制を終わらせました。
問17	答え 黒船	1853年、アメリカ東インド艦隊司令長官ペリーは4隻の軍艦を率いて浦賀沖に現れました。船体が黒く塗られていたことから、当時の人々はこれらを黒船と呼びました。圧倒的な軍事力を誇示された幕府は、大きな衝撃を受けました。
問18	答え 燃料	薪水給与令に基づき、幕府は日本近海に来航する外国船に対して、薪（燃料）や水、食料を供給し、穏やかに退去させることを命じました。これは、無用な軍事衝突を避け、開国要求を先延ばしにするための消極的な妥協策でした。
問19	答え 品不足	輸出の増加により国内の在庫が減り、供給が不足しました。さらに、金貨の流出や幕府による貨幣改鑄が重なり、お金の価値が下がって物価が異常なほど高騰しました。庶民にとって不可欠な米の価格も上がり、生活は困窮を極めました。